

平成26年度 岩美中学校 スクラム教育 3学期マネジメント

スクラム教育の目標		小1プロブレムや中1ギャップなど異校種間で子どもの「育ちや学び」がとぎれないよう、縦(校種間)や横(家庭・地域)の連携を大切に、めざす子ども像の実現に向けた教育を推進する。							
スクラム教育のテーマ		P							
スクラム教育重点努力目標		(1)脳科学に基づいた発達段階を考慮に入れた保育・教育活動を創造する。 (2)校種間を越えてた重複的連続性と校種間連携による学習(遊び)を創造する。 (3)スクラム教育の取組について、保護者や地域に向けて情報発信を行う。							
保育士・教職員スローガン		一人ひとりが、スクラム教育に「参画」、「協働」し、よりよい教育環境を共に築きあげよう。							
学校教育目標		生活のリズム(望ましい生活習慣・食事のあり方・メディアとのつきあい方)、生活習慣(身だしなみ、清潔感、整理整頓)を定着させ、自主・自立の精神を養い、共生の精神を尊重する人間関係作りを構築し、学力向上を目指す。							
めざす子ども像		目指す児童・生徒の姿	主な活動	1月	2月	3月	到達目標	評価基準	成果と課題提言
自立する子	生活習慣の確立	「確かな学力」の基盤となる望ましい基本的生活習慣を身につけている。	NOMEDIADAYの実施(毎月第2・4水曜日に実施) 生徒の現状を情報発信し、基本的な生活習慣を身につけるように啓発する。	1月NOMEDIADAY 実施率集計とレポート作成 1月スクラム教育推進委員会 姿勢強化週間・歯磨き強化週間との運動	2月NOMEDIADAY 実施率集計とレポート作成 2月スクラム教育推進委員会 姿勢強化週間・歯磨き強化週間との運動	3月NOMEDIADAY 実施率集計とレポート作成 3月スクラム教育推進委員会 スクラム教育第4次案の配布 姿勢強化週間・歯磨き強化週間との運動	メディアの付き合い方を考え、規則正しい生活を送ることができる。 望ましい生活習慣を身につけ、精神的自立の基礎と学習に迎える身体を作る。	NOMEDIADAY実施率80%以上 平日のテレビ・ビデオ・ゲームを2時間以内の生徒60%以上	
	学び続ける子	目標を持って学び(遊び)、校種間ギャップを克服する。	ウォーミングアップタイムを実施する。 自主学習ノートをもとにした家庭学習の実施 18年間を見通したカリキュラムの実施	第2回いわみ計算検定 第2回実力テスト 町研研究部会② ～授業仮説を記入した指導案による授業	学年末テスト ～中学校三年間の進路学習の流れの説明を行う 高校の教員による受験対策前授業	岩美町スクラム教育フォーラム → 第3回実力テスト、NRT	来年度ウォーミングアップタイム計画の作成 自分から意欲的に家庭学習に取り組むことができる。 系統性が考慮された授業展開によって校種間ギャップが軽減する。	ウォーミングアップタイム50回以上 自主学習ノート提出率80%以上 第2回いわみ漢字検定ファーストチャレンジ合格率80%以上 発達段階と小中高の系統性を考えた研究授業を行った教師80%	
	人と切に接するがりを	自尊感情を高めるとともに他者理解を深め、コミュニケーション力を身につける。	校種間連携により、児童・生徒の心理的安定の軽減を行う。	中1ギャップ追跡アンケートを実施 町内3小学校6年生による中学校1日体験入学 ～6年生に向けて中学校授業の実施	中学校2年生と小学校6年生との交流(2/12)	→	自尊感情を高め、コミュニケーション能力を育てる活動を体験することで、児童、生徒間のつながりが強くなる。	中学校への入学が楽しみであると感じた小学校6年生80%以上	
岩美町を好きになる子	地域の「ひと・もの・こと」に親しみ、岩美町を好きになる。	岩美町民の一員として地域貢献をする。	JRC愛郷活動 岩美高校生徒会執行部との協働作業				生徒が地域の行事やボランティア活動へ積極的に参加できる。	地域の行事や活動に積極的に参加している生徒70%以上	